



月刊税理士事務所 チャンネル

CHANNEL

2023
3
No.499

シリーズ企画

物流の2024年問題を考える.....2

事務所訪問

福井健太税理士事務所.....6

業界ウォッチャーのトレンド情報NOW.....9

中部会独自企画①

飛騨高山が誇る酒蔵を訪ねよう!.....10

中部会独自企画②

「愛知のキムチ」の誕生ストーリー.....12

エヌエヌ生命・デジタルツールのご案内.....13

MJSからのお知らせ.....14

ミロクシステムQ&A

『所得税確定申告書』.....16

会計人のリレーエッセイ

中部ミロク会計人会 古口 美知子.....19

今月の表紙:熊野灘に向かって吠える獅子岩
場所:三重県熊野市

日本の未来一
企業を支える



ミロク会計人会

<https://www.mirokukai.ne.jp/>

物流の2024年問題を考える

最近、運輸・物流業者の間で「2024年問題」が話題になっています。これは働き方改革関連法によって2024年4月1日以降、自動車運転業務の年間時間外労働時間の上限が960時間に制限されることによって発生するさまざまな問題（運送・物流業者の売上減、ドライバーの収入減など）のことを指します。そこで、物流コンサルティングサービスを手掛ける船井総研ロジ(株)の河内谷 庸高氏に「2024年問題」の概要とその対策についてお話をいただきました。

運輸・物流業界を揺るがす「2024年問題」の影響

働き方改革関連法が施行され、大企業では2019年4月から、中小企業では2020年4月から時間外労働の上限規制（年間720時間）が適用され始めましたが、運輸・物流業者業界については5年間の猶予期間を経て、2024年4月からの適用となります。その内容は自動車運転業務の年間時間外労働時間の上限を960時間に制限するというものです（その他、2023年からは月60時間超の時間外割増賃金率が25%から50%に引き上げられます）。その結果、ドライバーの1カ月当たりの時間外労働時間の上限（ドライバーが月間22日勤務、1日1時



河内谷 庸高 氏

かわちや・のぶたか

船井総研ロジ株式会社 ライン統括本部
物流ビジネスコンサルティング部 部長

2006年船井総研グループに入社。入社以来、運輸・物流業を中心に、業績アップコンサルティングを展開。運輸会社・物流会社向けに、マーケティング戦略の立案や運賃交渉支援、デジタル化・業務効率化、ドライバー採用強化といったテーマをメインにコンサルティングを行っている。物流企業経営研究会「ロジスティクスプロバイダー経営研究会（会員数約300社）」を主宰。

間の休憩の場合）が98時間から80時間に引き下げられることになり、運送・物流業者の売上やドライバーの収入に大きな影響が出ると見られています。まさに今、運輸・物流業者業界やドライバーはこの法令への対応を急いでいるわけですが、現状、1カ月当たりの労働時間を275時間以内（2024年4月以降の法定労働時間173時間＋時間外労働時間80時間＋休憩時間22時間）に抑えられている事業者はまだほとんどいません。特に長距離ドライバーは現在の改善基準告示である月293時間（そのうち時間外労働時間は98時間）を遵守するのも困難な状況にあるのです。また、国土交通省の「トラックの輸送状況の実態調査結果」で1運行の拘束時間を見て

図1 働き方改革関連法より（中小企業の場合）

2019	年休5日取得義務化、管理職の労働時間把握義務化
2020	一般則：時間外労働の上限規制（年720時間）の適用 未払賃金の請求権消滅時効期間が2年から3年※に延長 ※2025年には5年に延長予定
2021	同一労働 同一賃金（派遣は2020年から）
2022	
2023	月60時間超の時間外割増賃金率引上げ（25%→50%）
2024	自動車運転業務：時間外労働の上限規制（年960時間）の適用

も、現状では長距離ドライバーの44.3%が16時間となっており、いかに今回の労働時間の制限がシビアなものであるかがうかがえます。特に事業規模が小さい事業所については対応が難しく、「2024年問題」を前にして「事業を譲渡したい」という声も上がっ

図2 車両規模別運送会社数の推移

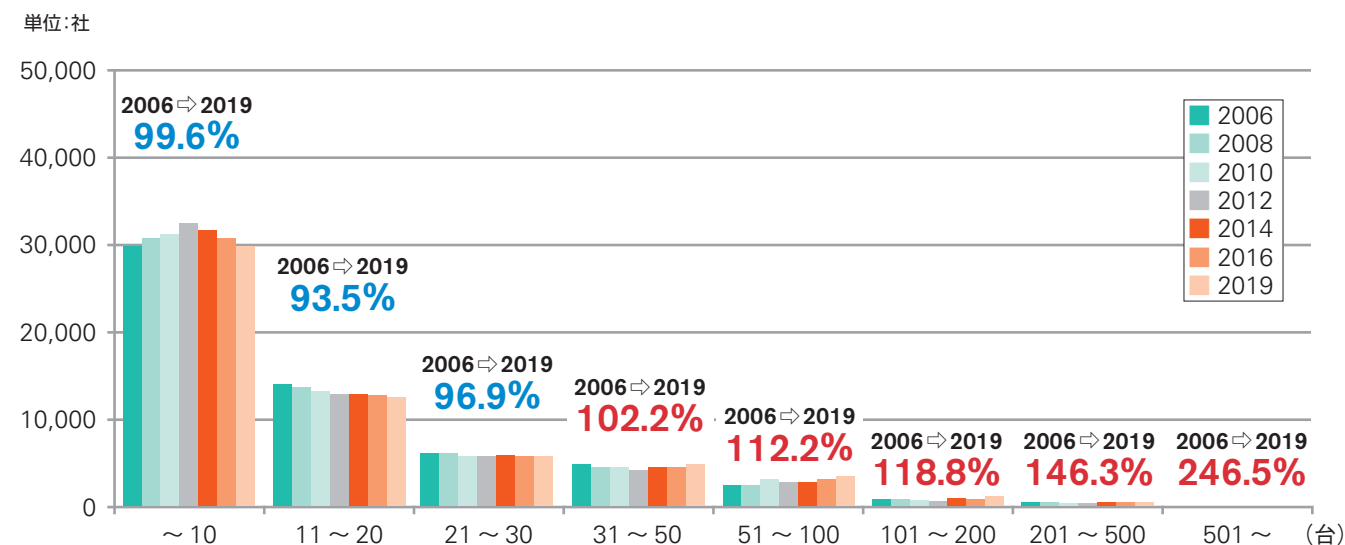
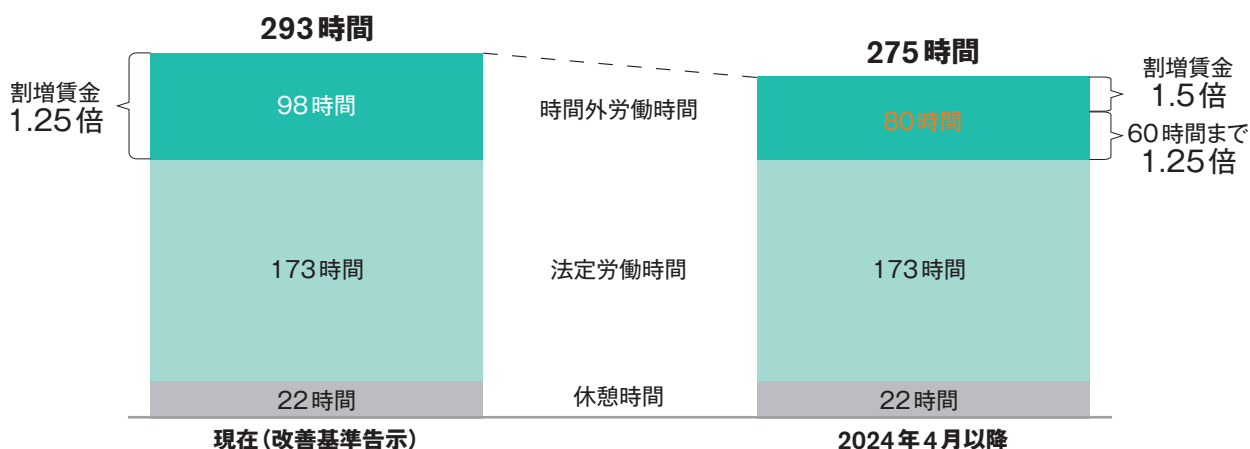


図3 時間外労働の上限規制の影響

■ 22日 勤務、1日1時間の休憩 時間の場合



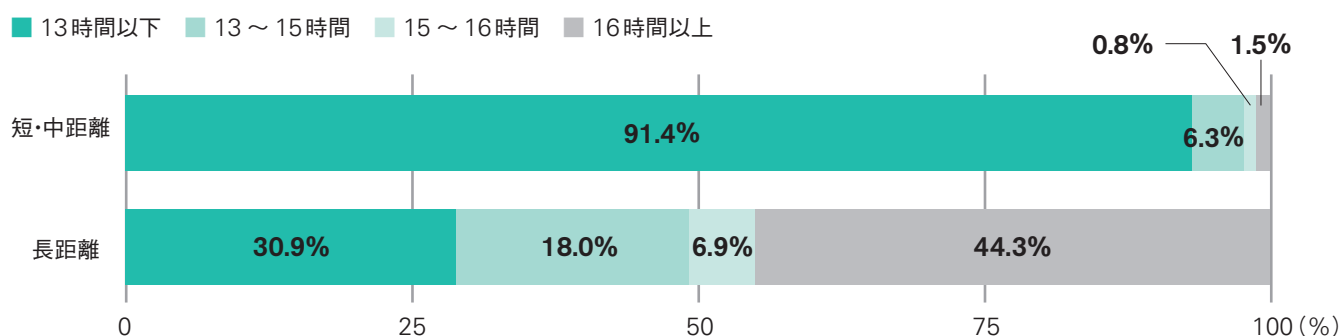
293時間／月を守れている企業でも、さらに2割近く労働時間の削減が求められる

では、この難問に事業者はどのように対応すべきなのでしょう。シンプルに効果を上げられるのはドライバーの出勤日数を減らすことなのですが、それでは売上が減少するのももちろん、十分な給与を得られなくなること、ドライバーの離職率が高くなってしまうかもしれません。つまり、事業者はドライバー一人ひとりの労働時間を法定時間に取めながら、これまで以上に高効率な輸配送業務を確立する必要があります。

そうした中、あらためて注目を集めているのが「中継輸送」という方法です。例えば東京—九州間への輸送の場合、その中継拠点を大阪などに設けているほどです。現に2006年から2019年にかけての車両規模別運送会社数の推移を見ると、車両数が30台未満の事業者は減少傾向にありますが、それ以上の数の車両を有している事業者は増加傾向にあり、業界全体で徐々に大規模事業者への集約が進展していることが分かります。おそらくこの傾向は「2024年問題」を機にさらに加速していくのではないかと思います。

**3つの対策を実施し
高効率な輸配送を実現**

図4 時間外労働時間の実態



出典：国土交通省「トラック輸送状況の実態調査結果」（調査期間：令和3年1月～3月）

てそこでドライバーを交代することで、一人当たりの労働時間を削減するといふものです。もちろん、より多くの拠点を有していれば、交代回数を増やし、ドライバー一人当たりの負担をさらに軽減することも可能になります。ちなみに、この方法は古くから知られていましたが、拠点数を増やす必要があるため、ある程度の規模の事業者しか採用することができていませんでした。しかし、「2024年問題」が浮上してきたこともあり、ここに至り比較規模が小さい事業者も中継輸送を検討するようになってきています。もっとも、小規模事業者の場合は新たに拠点を設ける資金がないので、小規模事業者同士でお互いの事業所を拠点として活用したり、既に中継輸送を実施している大規模事業者の拠点を借りたりして中継輸送に取り組んでいるケースが目立ちます。

あらかじめサポートを依頼しておき、その時間をできるだけ短縮するのです。また、従来のように宵積み（前日のうちに荷物を積み込んでおくこと）をすののではなく、当日の朝一などに効率的に荷物を積み込むことで労働時間を圧縮することもできるでしょう。

そして、3つ目の対策が実車率（走行距離のうち、荷物を載せて走行した距離の比率）の向上です。国土交通省によると、運輸・物流業者の実車率は50%を切っているとのことですが、複数の輸配送を同時に行ったり、荷下ろしの後に近隣で荷受けするような配車を増やすことができれば、まだまだ実車率を高めることはできるはずです。とはいえ、それを実現するには納品時間にある程度の余裕を持つておく必要があるのです、まずは荷主に協力を依頼し、時間指定を緩くしてもらうことが重要です。

ドライバーだけでなく 管理部門のレベルアップも必須

ドライバーのマネジメントを担う管理部門の対応にも注目してみましょう。例えば今回の働き方改革関連法への対応にあたって、管理部門はドライバーの走行時間や時間外労働、休憩時間に關して、これまで以上にそれらが法定の範囲内に収まっているかどうかを念入りにチェックしなければならなくなっています。その中でも見落とされがちなのが休憩時間です。デジタルタコグラフ（デジタル式運行記録計）の導入で、運転時の速度や走行時間・距離などの情報は簡単に管理できるようになりましたが、案外と休憩時間の管理を怠っているケースが見受けられるので注意してほしいと思います。このように休憩時間が正確に把握できていなかったり、記録に残っていないかったりすると、未払い残業代として請求されるなどのリスクにつながりかねないので、休憩時間の管理にも万全を期すようにしていただきたいと思っています。

ちなみに、こういったリスクを解消するには、管理職の日々のチェックが重要です。先述した休憩時間の問題のケースであれば、まずはデジタルタコグラフによる記録を毎日管理し、チェックを行うようにします。そして、その内容に食い違いがある時にはその都度、ドライバーに事実確認をし、誤りがあれば正し、その履歴をしっかりと残すような仕組みを構築することで、休憩時間の誤差が生じるリスクを軽減することができるようになります。

図5 2024年以降勝ち残る企業の条件

1	適正運賃収受・契約条件改善ができている会社 収支・原価管理(車両別・1配送単位)の徹底、実態(待機時間・付帯作業等)の把握
2	マーケティング・営業に注力している会社 新規荷主を獲得し、積載率・稼働率の向上や荷主の入れ替えをできる体制に
3	オウンドメディアで(若手)人材を集められる会社 ホームページ、SNSを活用した自社媒体での情報発信の強化
4	DX・デジタル化を推進している会社 生産性向上だけでなく、荷主からも求職者からも従業員からも選ばれる会社づくり
5	労務コンプライアンスを徹底している会社 拘束時間(特に休憩時間・待機時間)の把握徹底、労務管理の強化、輸送形態の見直し
6	管理職が機能している会社 上記1～5の推進役。本来の役割・業務に従事できているか

運賃の引き上げや
人材獲得にも注力

もつとも、こうした対策を講じてい
くには相応の投資が必要になります。

しかし、小規模事業者の場合、資金的
な余裕がないところが多く、私のもと
にも多くの相談が寄せられています。
その時に考えてほしいのが運賃の引き
上げです。経営者の中には「運賃の引
き上げを交渉すると仕事を打ち
切られてしまうかもしれない」
という危惧を抱いている方もい
ますが、そもそも「2024
年問題」に対応することができ
なければ、早晚、事業は立ち
行かなくなるので、今がまさに
正念場と考えてください。

また、2020年4月に「標
準的な運賃」が定められたこと
も追い風になっています。これ
は「2024年問題」を受け
て、国土交通省が「事業者が
法令を遵守して持続的に事業を
行う際の参考となる運賃」とし
て定めたものです。設定にあた
ってのポイント①人件費と
して全産業平均の単価を使用②
車両の償却年数を5年で設定③
年間稼働時間を全産業平均の労
働時間約2086時間(残業
ゼロの労働時間)程度に設定④
実車率を50%(帰り荷が無く車
庫へ戻ること)で設定⑤適正利
潤(1台/年当たり)として、

固定費・変動費に対して、利益率が年
2・7%で設定となっており、東京を
起点として福岡市まで長距離輸送をす
る場合の「標準的な運賃」は中型車で
22万5730円、大型車で30万250
円、トレーラーで38万9300円と算
出されています。

荷主に対してこうした根拠をしっか
りと伝えた上で、自社の輸配送費用や
原価率などを明確に示して交渉に臨め
ば、ある程度の理解は得られるはずで
す。しかも、昨今はドライバー不足や
コロナ禍による物流量の拡大、ウクラ
イナ危機を端緒とした燃料代の高騰な
ども相まって、運賃交渉が比較的通り
やすい状況にあります。輸送事業者の
中には「どんぶり勘定」が常態化して
しまっているところもありますが、そ
ういった事業者はこれを機に自社の経
営体質を改善し、万全を期した上で交
渉に臨んでほしいと思います。

こうした取り組みを推進するととも
に、人手不足の解消にも努めなければ
なりません。もともとドライバーの多
くは「働ければ働くだけ稼げる」こと
を重んじていましたが、働き方改革に
よって労働時間が制限された今、時
間外労働による賃金向上は望めませ
ん。であれば、これからは先述したよ
うな業務の効率化や運賃向上の働きか

け、DXの推進、さらにはマーケティ
ングや営業力の強化による売上アップ
を図りながら、ドライバーの賃金水準
や労働環境を高めていくことが重要に
なります。また、社会全体が人手不足
に悩む中、若手人材に関心を持っても
らうにはホームページやSNS※1な
どのオウンドメディア※2を最大限に
活用する必要もあるでしょう。輸送事
業者を顧問先に持つ会計事務所様
には、これらの視点を共有することで、
「2024年問題」を乗り越えられるよう伴
走いただければと思います。

本誌アンケートに答えた方に毎月抽選で

2,000円分を
プレゼント!



QRコードからアクセスし、
ぜひお答えください!

※1 Social Networking
Serviceの略で、登録された利
用者同士が交流できるWebサ
イトの会員制サービスのこと
※2 自社で保有するメディ
アの総称。ここではブログな
どのデジタルツールを想定



岐阜の地で3代にわたって 顧問先に寄り添った経営支援に邁進

2023年に入って早々に事業承継の手続きを完了させた福井健太税理士事務所。1967年の開業以来、3代にわたって岐阜市の顧問先を支援してきた老舗事務所です。さっそく、事務所を承継したばかりの福井 健太先生とその父上で、長年にわたって2代目所長を務めてきた福井 真一先生、そして税理士の塚下 順司先生に同事務所の歴史や昨今の取り組みについて伺いました。

スピード感を大切にしながら
経営支援に最善を尽くす

——事務所を開業したのは真一先生の父上だそうですね。

福井 真一先生（以下、真一先生） 当事務所を立ち上げた父、福井 一郎は1964年、42歳の時に税理士試験に合格しました。父はもともと住友信託銀行名古屋支店（当時）で勤務していましたが、地元・岐阜市に戻ってからは証券会社を設立するなど起業家精神も旺盛だったように思います。その後、「経営者を支援したい」という一心で税理士試験に取り組んだのですが、父が早朝から勉強に打ち込んでいる姿は今も私の脳裏に焼き付いています。その印象が強かったおかげか、私も

事務所 訪問

福井健太税理士事務所

所在地 岐阜県岐阜市加納栄町通4-13
TEL 058-272-2547
設立 1967年
職員数 9名



岐阜市

大学時代の途中から公認会計士を目指すようになり、何とか在学中に2次試験を突破。その後、名古屋の監査法人丸の内会計事務所（現・監査法人トーマツ）に入所し、充実した日々を送っていました。しかし、年次を重ねる中で所内に優秀な人材が大勢いて出世が困難であること、そして父の事務所の動向などが気がかりになり、1982年から父のもとで働き始めました。

——大手監査法人からの転身ということとで、ギャップを感じることもあったかと思いますが。

真一先生 監査法人時代は主に経理部長などと実務的な話を重ねていましたが、会計事務所は経営者とのやりとりが中心になってきますし、税務会計だけでなく、経営全般に関する相談に對

応しなければなりません。そうした中、私が意識してきたのは「税務署のためではなく、経営の役に立つ決算を心がけること」です。そのため、当事務所では正確性だけでなく、月次決算のデータを提供するスピードにこだわり続けてきました。顧問先にも早く情報を提示し、それを経営に活用してもらうことを重んじてきたのです。

——そういった経営方針は一郎先生の時代からあったのですか。

真一先生 そうですね。父は常に「経営支援」を意識していましたし、私自身、その姿勢から多くを学んできました。そして、当事務所ではその思いを体現すべく、①お客様の税務申告は必ず申告は認となるよう全力をつくすべし②お客様企業の発展と利益向上のために最善をつくすべし③事務所の経営目標と職員個人の生きがいとは常に一致すべし④自利とは利他をいう⑤攻撃には進歩があり防禦には後退があるという父が設けた経営理念を、そのまま引き継いでいます。

持続可能性の向上を目指し 事業承継を早期に実現

——健太先生も真一先生と同じく監査法人トーマツで勤務されたそうですね。
福井 健太所長（以下、健太先生） 私

が勤めていたのは監査業務的に著しく仕事が多忙な時期で、毎日がとても忙しく、社内も緊張感に満ちていました。監査対象の企業にお邪魔し、昼夜を問わず、監査業務に励んだりすることもしばしばありましたね。

——2015年、32歳の時に岐阜に戻られたそうですが、税理士業務に携わり始めた時の感触はどうでしたか。

健太先生 自分から能動的に、そして企業のために動けるのが刺激的でした。監査も重要な業務であることに違いはないのですが、どうしても経営陣とは一定の距離を置かざるを得ません。その点、経営者に寄り添いながら、一緒に課題解決に臨める税理士の仕事には、これまでにない面白さを感じられたのです。

——とはいえ、当初はご苦労も多かったかと思います。

健太先生 もちろん、最初の頃は税務会計の実務に不慣れだったので、父のアドバイスはもちろん、当事務所に長年貢献してくださっている塚下 順司先生のフォローの下で業務に取り組みました。

塚下 順司先生（以下、塚下先生） 私は大学を卒業してからずっとこちらの事務所でお世話になっていることもあり、健太先生が戻られた頃には既にあ

らかたの業務を把握していました。それにしても、若くしてさまざまな経験を積んできた健太先生の入所は非常に心強かったですね。

——2023年に入って早々に事業承継の手続きを終えられたそうですが、いつ頃から事業承継を意識し始めたのですか。

真一先生 私はもともとできるだけ早く事業承継を済ませたいという思いを持っていました。息子が40歳になる前にバトンを渡すことで、事務所の持続可能性を向上させたいと考えていたのです。50歳になってからだだと精神的に活動できる期間が短すぎるし、かといって30歳くらいだと早すぎる。であれば、息子が40歳になる前の今こそ絶好のタイミングだと感じたのです。

——真一先生はどのような立ち位置で事務所経営に携わっていかれるのですか。

真一先生 一歩引いた立場からフォローし続けたいと思っています。引退したのに権限を持ち、現役世代に事細かく指示を出す人もいますが、そ



整理整頓がなされ作業効率の良いオフィスです

れでは代替わりの意味がないし、後継者も若い感性を発揮できなくなってしまうすからな。

——ところで、岐阜といえはかつては繊維業で栄えたイメージがありますが、現在はどうなっているのでしょうか。

真一先生 繊維業が隆盛を極めていたのは高度経済成長期の時代です。繊維問屋街に日本中から大勢の買い付け客が殺到し、宿も飲食店も大いににぎわっていました。しかし、近年は繊維業の海外シフトなどの影響で、軒並み往時の活力を失っている状況です。

——現在はどういった事業者が多いのでしょうか。

健太先生 当事務所の場合は製造業や医療・福祉関係の顧問先が多いですね。ありがたいことに祖父の代から続いている顧問先も多数いらっしゃいます。しかし、コロナ禍や物価高の影響は大きく、厳しい状況に立たされている顧問先が増えつつあるのも事実です。既存の顧問先の経営支援に全力を投じながら創業支援にも注力していくことで、新旧の顧問先のバランスを取っていきたいと考えています。

——長年にわたって顧問先との関係性を良好に保つコツはありますか。

真一先生 顧問契約などの料金設定をこちらが思う金額の95%に設定してき

たのが良かったのかもしれませんが。この「5%」というゆとりが意外と大切で、仮に100%だったら当方からは「ここまでサポートしているのに」という気持ち、そして顧問先からは「こんなに払っているのに」という気持ちが出したりしかねません。しかし、この「5%」のおかげで、お互いにある程度は寛容な気持ちで向き合うことができるし、結果、それが良質なコミュニケーションにつながっていくのです。

事業承継や相続、デジタル化など 多様なニーズに対応したい

—— 昨今、顧問先からはどのような相談が寄せられていますか。

健太先生 付き合いの長い顧問先では代替わりが進んでおり、そのつど事業承継や相続に関する相談を頂戴しています。また、後継者が不在の顧問先についてはM&Aによる売却を検討するケースが増えています。その際には経営者がきちんとハッピーリタイヤを

迎えられること、そして従業員の雇用を維持できることなどを重視しています。とはいえ、M&Aを成約させるにはタイミングと経営者の決断が肝心なので、経営者には売却価格を必要以上に釣り上げるのではなく、「適正価格で従業員の雇用が維持できるように売る」ことを心がけてもらうようにしているところなんです。

—— 今後の展望をお聞かせください。

健太先生 MJSのシステムを活用して生産性を高めつつ、そこから得られ

るデータを顧問先に提供し、さらに経営支援に役立てていければと考えています。また、一方で顧問先からの相談が多様化してきているので、有資格者はもちろん、職員とも力を合わせながら、事務所全体をレベルアップさせていきたいと思っています。

塚下先生 昨今、顧問先からペーパーレスなどに関する相談を受ける頻度が増えています。改正電子帳簿保存法やインボイス制度への対応などもある中で、MJSと連携しながら当事務所の体

制を整えるのはもちろん、顧問先にもそれらのノウハウを提供できるようにしていきたいですね。

真一先生 父が事務所を構えてから、早くも55年以上が経過しました。その間、当事務所が存続できたのはまさに顧問先の皆様のおかげです。次代を担う面々にはその感謝の気持ちを忘れることなく、業務に邁進してほしいと思っています。

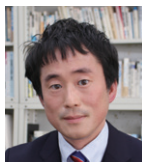
—— 本日はありがとうございました。ますますのご発展をお祈りいたします。

History & Story

税理士・公認会計士までの歩み

・ 福井 健太先生

「物心がついた頃から、父に『公認会計士はいいぞ』と言われ続けてきたんです」と話す健太先生。大学では経営学を専攻し、3年生の頃からは公認会計士を目指して、専門学校に通い始めたそうです。そして、2009年に公認会計士2次試験に合格し、監査法人トーマツに入社。7年ほど懸命に勤務したタイミングで「事務所を継がないか」と真一先生に言われ、岐阜に戻ることを決意したそうです。



・ 福井 真一先生

大学進学時は特に父上の事務所を継ぐことを意識していなかったという真一先生。当時は学生運動の最中で、「授業はほとんど行われず、遊んでばかりでしたが、1年生の夏前にあまりに青春の時間がもったいない」と思い「何か目標を立てよう」と一念発起し、公認会計士試験の勉強に取り組むことに。そして在学中の1974年に公認会計士2次試験に合格。監査法人丸の内会計事務所（現 監査法人トーマツ）での勤務を経て、1982年から父上の事務所で勤務し始めたそうです。そして父上の逝去に伴い、2000年に事務所を引き継ぎ、今年早々、健太先生にバトンを渡しました。



・ 塚下 順司先生

30年ほど前に大学を卒業し、新卒採用で福井一郎税理士事務所に入所したという塚下先生。バブル経済の崩壊を目の当たりにしたこともあり、大学時代から手に職をつけることを目指して、税理士試験に取り組むことに。事務所に入所して以降も業務の合間を縫って勉強に励み、2007年に税理士試験に合格したそうです。



■図1 年齢別合格者数

	合格者数 (人)	合格者構 成比(%)
25歳以下	38	6.1%
26～30歳	82	13.2%
31～35歳	114	18.4%
36～40歳	112	18.1%
41歳以上	274	44.2%
合計	620	100.0%

*出典:筆者が国税庁発表資料より作成

昨 年11月30日、第72回税理士試験の結果が発表されました。官報合格者は2021年度試験(71回)より35人増え620人で、一昨年度以来の600人台を回復しました。しかし、近年最も多かった04年度から見てみると、2番目に少ない合格者数で10年後、20年後の税理士業界において、税理士不足になることが懸念されます。

官報合格者を年齢別に見てみると

受験者数は回復傾向
受験者数については、コロナ禍で最も減少した70回(20年度)の

(図1)、41歳以上が274人と突出して多く、全体の44.2%を占めています。次いで31歳から35歳が114人(18.4%)、36歳から40歳が112人(18.1%)、26歳から30歳が82人(13.2%)、25歳以下が38人(6.1%)の順です。

官報合格者の高齢化の特徴は、40歳以下の合格者が年々減少してきていることが原因です。ちなみに、08年度試験では、「31歳～35歳」が303人で最も多く、ついで「26歳～30歳」の236人で、官報合格者全体の59%と約6割を占めていました。

懸念されるのが、合格者の高齢化同様に、受験者も高齢化していることです。こちらも、40歳以下の受験者が減っているだけです。図2を見ていただければ一目瞭然です。

41歳以上の受験者数が安定しているのは、税理士試験が科目の積み上げ方式であることが影響していると思われます。何年かけても5科目合格すれば

2万6673人から21800人増え2万8853人となり、71回と比べても1554人増えました。2年連続の増加です。近年、税理士試験離れが進んでいたことから、歯止めがかかったようにも感じます。とはいっても、60回試験では、受験者数は5万1468人でした。12年で受験者数は約半分減ったこととなります。

常と比較される公認会計士試験ですが、こちらの合格者の平均年齢は25歳です。20年12月末の数字になりますが、税理士登録する公認会計士新規登録者は520人で、試験合格者の628人に近づいてきています。30歳前後の若者の資格者を輩出し、育てていくことは、その業界の発展、将来に大きく影響してきます。税理士試験の受験者及び5科目合格者の高齢化は、税理士業界の将来を考えたときに、不安材料と

業界ウォッチャーの トレンド情報 NOW

元税金専門紙・税理士業界紙の編集長である業界ウォッチャーが伝える、会計事務所業界関連の最新情報! 旬な話題を読み、事務所経営や顧問先へのアドバイスにご活用ください。

File 20

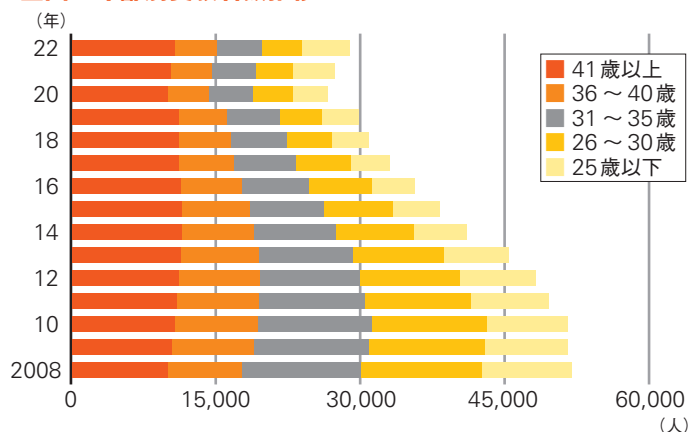
2022年税理士試験から 垣間見える 税理士業界の将来



宮口 貴志 氏

税金・会計ニュースを他では読めない切り口で伝えるメディア「KaikaiBizline」の論説委員兼編集委員。税金の専門紙「納税通信」、税理士業界紙「税理士新聞」の元編集長で、現在は租税調査研究会の専務理事の傍ら、会計事務所ウォッチャーとしても活動。
「KaikaiBizline」ホームページ ● <https://kaikaibizline.com/>

■図2 年齢別受験者数推移



*出典:筆者が国税庁発表資料より作成



(上) 高山の酒蔵7軒の代表銘酒 (下) 高山市の古い町並み。上三之町には2軒の酒蔵がある



飛騨高山が誇る 酒蔵を訪ねよう!

「寒い地には良酒あり」——。この言葉通り、岐阜県北部の飛騨地方にある高山市では古くから良質かつ独特の風合いに満ちた日本酒が醸されてきました。そこで、高山の酒造りの歴史と背景、現存する7軒の造り酒屋の特徴と酒蔵関連イベントについて、(一社)飛騨・高山観光コンベンション協会にご紹介していただきました。

自然・文化が育てた 高山ならではの酒

高山市の観光業界も例に漏れず、コロナ禍によって大きな痛手を受けました。2023年に入って国内のお客様とともに外国人旅行者(インバウンド)も回復の兆しを見せてはいますが、まだまだコロナ禍前の状況にはほど遠い状況です。

しかし、高山には国内外の皆さんを魅了する情緒に満ちた町並みとともに日本酒という素晴らしい地域資源があります。その歴史は古く、330年ほど前には56軒もの酒蔵があったと言われています。江戸時代中期、この地は徳川幕府の直轄地となり、江戸から派遣された代官・郡代が統治にあたっていました。そして「旦那衆」と呼ばれる高山の豪商や一部の商人は周辺の農村地帯から納められる年貢米を利用して酒造りに励んでいました。どうやら米の市場価値が高い時にはそのまま販売し、安い時には酒にして販売していたようです。今も100年以上の歴史を持つ酒蔵が7軒現存していますが、3000m級の山々が連なる飛騨山脈からの豊かな伏流水と、冬期には零下10℃以下になる厳寒な気候が酒造りに適しているのだと思います。

伝統、食文化、風習が 色濃く表れる高山の酒

現代の温度管理設備が整った酒蔵では一年中酒造りを手掛ける「四季醸造」が主流ですが、高山では今も昔ながらの「寒仕込み」「寒造り」が一般的です。高山の酒蔵のほとんどが一年で最も気温の低い12月から3月初旬までの冬場に酒を仕込みます。その理由は原料の酒米が秋に収穫されること、そして日本酒の仕込みの際、低温の方が雑菌の繁殖を抑えられ、もろみがゆっくり時間をかけて発酵できるためだとされています。

もちろん、仕上がる酒には高山独特の伝統文化、食文化が色濃く表れています。当地で日常的に食されている赤カブ、大根、白菜などの酸味、塩味が強い漬物や砂糖をほとんど使わない伝統料理などの食文化にマッチした味、香りの酒が重宝され続けているのもそのためです。また、今でも祝儀などとして互いに酒を贈り合うことが文化風習として色濃く残っています。

こうした高山の酒の魅力を広めるために、当協会では高山市の冬の観光を代表するイベントとして「酒蔵めぐり(冬の酒蔵公開)」を1975年から続けており、2020年に「飛騨高山・

酒蔵のん兵衛まつり」と改称・リニューアルし、参加する酒蔵のそれぞれの酒を飲み比べたり、自分の好みの酒を探したりといったイベントを行っています。高山の7軒の造り酒屋(1軒は小売部)は、全てが江戸時代の商人町、上一之町・上二之町・上三之町の徒歩5〜10分圏内に位置しており、酒蔵をまわるには非常に便利。これほどの数の酒造が小さなエリアに立地しているのは、全国的にも珍しいと言われています。次回で4回目となる「飛騨高山・酒蔵のん兵衛まつり」は昨年同様6〜7月に開催予定。詳細は後日、ホームページなどでご案内させていただきますので、皆様、お誘い合わせの上、お出かけください。



「飛騨高山・酒蔵のん兵衛まつり」のロゴ

高山の造り酒屋の一覧

※試飲の料金などは2023年2月末現在

川尻酒造場		代表銘柄 「原酒ひだ正宗」「熟成古酒天恩」「山ひだ」	所在地 上二之町
		営業時間・定休日 9:00～17:00 無休 URL http://www.hidamasamune.com 新酒が流行りの日本酒蔵ではめずらしい古酒専門蔵。3年以上、なかには20年ものもある。石高は少なく、飾り気はないが、創業時の面影を感じさせる古色蒼然とした重厚な佇まいに圧倒される。試飲は「原酒ひだ正宗2015」(160円)、「天恩」(150円)を素敵な薄張グラスで味わえる。古酒で漬けた人気の「マサムネくんの絶品 梅酒」もクラッシュアイスとともに400円で試飲可能。	
二木酒造		代表銘柄 吟醸「玉の井」「大吟醸生酒氷室」	所在地 上二之町
		営業時間・定休日 9:00～16:00 不定休 URL https://niki-sake.com 創業元禄8年(1695年)、高山唯一吟醸造りの専門蔵で、店内にある井戸水を仕込みに使っていたことから命名された「玉の井」が代表銘柄。試飲スペースには大きなテーブルと椅子があり、ゆったり過ごせる。有料試飲は1種類100円から。	
平瀬酒造店		代表銘柄 「久寿玉(くすだま)」	所在地 上一之町
		営業時間・定休日 8:15～17:00 不定休 URL https://www.kusudama.co.jp 創業元和9年(1623年)と高山で最も古く、最も大きな酒蔵。県産酒造好適米「ひだほまれ」を多く使用。500円で盃を購入すると大吟醸から焼酎までほぼ全種類(24種類)を試飲できる。冬期には暖かいまきストーブが迎えてくれる。	
老田酒造店		代表銘柄 「飛騨自慢鬼ころし」	所在地 上三之町
		営業時間・定休日 9:00～17:00(小売部) 不定休 URL https://onikorosi.com 享保年間(1720年代)の創業以来、辛口の酒を造ってきた。酒蔵蔵は高山市郊外の清見町(車で20分)にあるが、上三之町にある直営の小売部では岐阜県産の酒造好適米「ひだほまれ」を使った各種類を試飲できる。	
船坂酒造店		代表銘柄 「深山菊」「甚五郎」	所在地 上三之町
		営業時間・定休日 8:30～18:00 無休 URL https://www.funasaka-shuzo.co.jp 日本酒のテーマパークを目指すだけあって店内には多種多様な酒をはじめ、食品、菓子、小物などの土産品などが充実。併設の食事処「味の与平」では飛騨牛料理が楽しめる。有料試飲はコインとおちょこ(各100円)を購入して、コインサーバーのセルフサービスで。10人以上での酒蔵見学と試飲は要予約(1人500円で2種類の試飲と酒蔵内部の見学付き。試飲2種類の場合は1人300円)。	
平田酒造場		代表銘柄 「飛騨の華」	所在地 上二之町
		営業時間・定休日 10:00～17:00 不定休 URL https://h-sake.jp 前身は江戸時代にびんつけ油とろうそくを取り扱っていた商家「打保屋」。明治時代に入って5代目が酒造場を創業。伊勢にもルーツがあることから、それぞれの地元の食用米「イセヒカリ」と酒造好適米「ひだほまれ」で酒を仕込んでいる。試飲は無料。人気は「飛騨白」「多賀山(たかやま)」「昇龍の舞」。	
原田酒造場		代表銘柄 「山車(さんしゃ)」	所在地 上三之町
		営業時間・定休日 9:00～18:00 URL https://www.sansya.co.jp 創業は江戸末期で、「旨い酒で人生はもっと豊かになる」を目標に酒造りを追求している。人気の「辛くち」やフルーティな「山車純米吟醸 花酵母造り」の他、季節商品や限定品も。また「元祖地酒チーズケーキ」や「地酒プリン」「地酒まんじゅう」などの食品の品揃えも豊富。380円でおちょこを購入すれば、サーバーにある約10種類を試飲できる。	

写真提供: (一社)飛騨・高山観光コンベンション協会

第4回飛騨高山・酒蔵のん兵衛まつり 2023年6月～7月開催予定

6軒の酒蔵でそれぞれ2種類の酒の試飲が楽しめるお得かつ楽しいイベント。オリジナルグッズの「飛騨高山御酒飲帳」(1冊3000円)を購入すれば、記念の盃とエコバッグがついてくる。また、この御酒印帳を持って酒蔵を巡り、酒蔵で買い物をしてスタンプを集めれば、酒蔵達成記念の品がプレゼントされる。また、参加酒蔵での買物1000円ごとに確認印が押され、集めた印の数で豪華プレゼントが当たる抽選に応募できる。

※参加予定の6軒の酒蔵: 二木酒造、平瀬酒造店、老田酒造店、船坂酒造店、平田酒造場、原田酒造場

主催: (一社)飛騨・高山観光コンベンション協会 住所: 岐阜県高山市本町1-2 TEL0577-36-1011 <https://www.hidatakayama.or.jp>
飛騨高山・酒蔵のん兵衛まつり ● <https://www.hida-nombe.jp>



「酒蔵のん兵衛まつり」で販売される飛騨高山御酒印帳と記念の盃とエコバッグ

「愛知のキムチ」の誕生ストーリー

愛知県では新しく県産農林水産物を活用した加工食品の掘り起こしと販路開拓を図るため、2012年から「愛知のふるさと食品コンテスト」を実施しています。2022年度には県産の未利用資源をブレンドした「愛知のキムチ」が最優秀賞(知事賞)を受賞しました。この商品が誕生した背景や開発時のエピソードについて、(株)ダイニチ食品の磯貝 幸弘社長にお話を伺いました。

大根とは、皮を剥いて塩漬けにした大根を糖分の浸透圧でさらに脱水し、搾って作る漬物沢庵で、当社の工場では1日2つの国産大根を加工。大根1本を丸ごと塩水に漬け込んだ後、糖液に1週間から10日漬けて込んで熟成させます。中でも、長年培ってきた技術で作った「北海生一本半割」は口当たりの良さとポリポリした食感が人気です。中部地方ナンバーワンの売上を誇っています。

地元の未利用資源を活用した「愛知のキムチ」の魅力

当社ではこうした伝統的な食品製造を基盤とした上で、老舗企業として新たな名物を生み出して地域の活性化につなげようと、これまでさまざまな商品開発にチャレンジしてきました。

2020年、地元の愛知学泉大学家政学部(愛知県岡崎市)の学生とともにに行った商品開発の体験型授業もその一つです。この授業を通して開発することになったのは、漬物市場の約4割を占めるキムチ。昨今、市場で主流となっている「子どもでも食べやすい甘口のキムチ」を基本としつつも、「愛知の特産品を使って地元ならではのおいしいキムチを目指す」ことをコンセプトに掲げました。そして名古屋コー

チンの鶏ガラを粉砕して旨みを高濃度で抽出したエキス、サイズが小さくて市場に出荷できないタマネギといった未利用素材を積極的に活用、さらには地元企業(株)あつみの鰻の頭部を使った魚醤「鰻能^{ばんのう}」、味噌・醤油メーカーのイチビキ(株)が開発した味噌由来の乳酸菌「蔵華(くらはな)乳酸菌ITK-1」などもブレンドすることで、より甘みと旨みがのったキムチを作り出しました。

これを「愛知のキムチ」として売り出したところ評判となり、2022年度の「愛知のふるさと食品コンテスト」で最優秀賞(知事賞)を受賞することができました。これを機に地元メディアで取り上げられて販売量は10倍以上に増加、ホームページで公開している名古屋コーチンの鶏肉や卵、県産米や県産長ネギを使った「愛知のキムチdeあまうまっキムチ炒飯」、愛知のキムチで作った特製ダレで手羽先を揚げ焼きにした「キムチで甘辛うみやあ手羽先」といったオリジナルレシピも好評で、県内での認知度がじわじわと上昇しています。現在の販売数量は1ヵ月で5万パックほど、今後はさらに販路開拓を進め、いずれは地域の全ての量販店で購入できる地元馴染みの逸品にしていきたいと考えています。



ダイニチ食品の主力商品の一つ、「糖しぼり大根」の「北海生一本半割」



「愛知」の2文字が強調されたパッケージが、地元ではお馴染みになりつつある



愛知の特産品の旨みたっぷりの「愛知のキムチ」

Bionic IRIS、 ポケットIRISで、 営業活動をサポート

リスク分析ソフトから
Bionic IRIS へ



デジタル技術を活用した新代理店営業支援システム。

事業保険分野におけるお客さまへのサービス価値を最大化しませんか？

Bionic IRIS × ポケット IRIS なら、お客さまごとに最適なアプローチが実現できます。

これから事業保険分野に取り組む皆さま、今までの営業活動を更に効率化・最適化したい皆さまなど、当社代理店の皆さまはどなたでもご利用いただけます。

Bionic IRIS × ポケット IRIS **3** つの特徴

Corporate



事業保険提案に 特化

中小企業や
そのオーナーさまの
課題解決に繋がる
サービスに特化。

Agency



代理店視点の 機能

当社だけでなく
他社の既契約情報の
管理など、
利便性を考慮した設計。

Free



最新技術を 無料提供

統計データに加え、
AI(機械学習モデル)や
AI-OCRを標準で装備。

【エヌエヌ生命 お問い合わせ先】

Eメール: Bionic IRIS の案内を希望される旨をご記入の上、ご連絡下さい。

後日、エヌエヌ生命社員よりご連絡の上、対応いたします。

IL-JP-miroku-nn@nnlife.co.jp

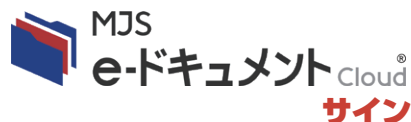
取引文書や契約書の電子化を実現する MJS e-ドキュメントCloud[®] 電子帳簿保存法対応のクラウドサービス

「MJS e-ドキュメントCloud」は、証憑を電子保管登録するMJS e-ドキュメントCloudキャビネットと契約を電子化するMJS e-ドキュメントCloudサインで構成したクラウドサービスです。

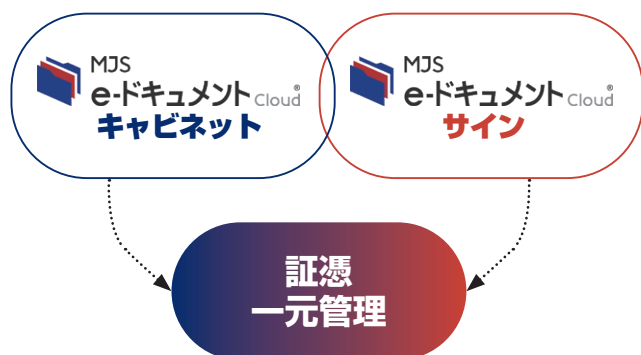
電子保管した証憑も電子契約した書類も一元管理でき、「書類管理機能」により電子帳簿保存法対応をサポートします。短期間で導入可能で新たな設備導入も不要なクラウドサービスです。



電子取引の電子データやスキャナ保存する証憑書類の保存要件を満たした証憑保管クラウドサービスです。アップロードしたファイルの承認やタイムスタンプの付与ができ、必要最小限の作業で国税関係書類の電子保存ができます。

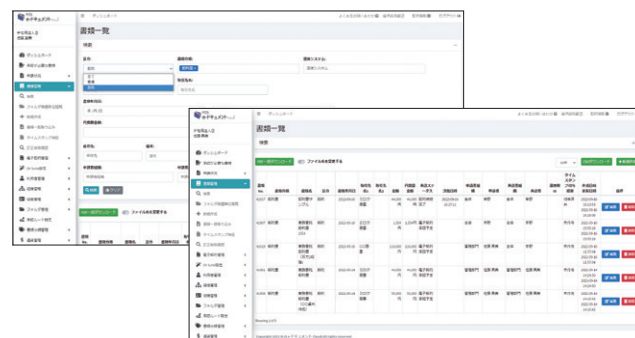


事業者型(立会人型電子署名)の電子契約クラウドサービスです。電子サイン方式と電子署名方式に対応しているため申込書/通知書等から取引基本契約書/工事請負契約書など様々な契約の電子契約を実現できます。



MJS e-ドキュメントCloudでは、国税関係書類の電子取引データ保存と電子契約による契約書の保存を同一のサービスで提供します。

複合条件で瞬時に検索



証憑書類と電子契約を一覧で確認

- ・証憑書類と電子契約を横断して検索
- ・電子帳簿保存法に対応



MJSのGalileopt/MJS LINKから連携して証憑の登録が可能です。あわせてお使いいただくことにより、請求書や領収書など仕訳に紐づく証憑から見積書など紐づかない証憑までトータル管理を実現できます。

サービス紹介の動画を公開しています QRコードから視聴できます

10分でわかる！ 電子取引データ保存



10分でわかる！ 電子契約サービス



※「MJS e-ドキュメントCloud」「Galileopt DX」「MJS LINK DX」は、株式会社ミロク情報サービスの商標または登録商標です。

※「Adobe PDF」は、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。

東京藝術大学ユーラシア文化交流センター 『みろくへの道』を出版

本年1月1日、「東京藝術大学ユーラシア文化交流センター」が書籍『みろくへの道』を出版しました。本書は、2016年から2022年にかけて同センターが取り組んできたアフガニスタン・バミヤンの失われた文化遺産再生プロジェクトの集大成としてこれまでの活動を一冊にまとめたものです。MJSは16年より同センターの活動を支援しており、その一環として本書の出版にも協賛しています。

本書は、21年に同センターが主催した「みろく——終わりの彼方 弥勒の世界——」の展覧会を軸に、アフガニスタン研究の第一人者であった故・前田耕作氏のバミヤン研究の歩みや対談などを加えて再編集されたもので、東京藝術大学ユーラシア文化交流センターの活動報告でもあります。

なお、本書の巻末には、MJSは枝 伸彦会長による「弥勒／ミロクへの思い」という寄稿も掲載されており、社名「ミロク」に対する想いも綴られています。今回は本書を抽選で20名の方にプレゼント

ントします。

【応募方法】

- ・応募期限：3月31日まで
- ・プレゼント数：20名様
- ・応募方法：メールにて、郵便番号、住所、氏名、事務所名、電話番号、希望の公演日時を明記の上、以下の宛先までご応募ください。
- ・応募先：ミロク情報サービス広報IRグループ「みろくへの道」応募係
- ・メールアドレス：pream@mjs.co.jp

※FAXでも応募を受け付けております。
・FAX：03-5360-3430
・当選発表：お申し込み多数の場合は、抽選とさせていただきます。当選結果は本書の発送をもってかえさせていただきます。



創立150年を迎えた東京国立博物館にて開催中の 特別展「東福寺」の鑑賞券をプレゼント

MJSが協賛している東京国立博物館は、2022年6月に創立150年を迎えました。

現在、5月7日まで開催されている、特別展「東福寺」の鑑賞券を10組20名様にプレゼントします。

新緑や紅葉の名所として知られる東福寺は、京都を代表する禅寺の一つです。朝廷の最高実力者・九条道家の発願により、中国で禅を学んだ円爾（聖一國師）を開山に迎えて創建されました。「東福寺」の名は、奈良の東大寺と興福寺になぞらえて、その一字ずつをとったことに由来します。中世の面影を色濃く留める巨大な建造物の数々は圧倒的なスケールを誇り、その特徴を表した「東福寺の伽藍面」の通称で知られています。

東福寺の寺宝をまとめて紹介する初の機会となる本展では、草創以来の東福寺の歴史を辿りつつ、大陸との交流を通して花開いた禅宗文化の全容を幅広く紹介し、東福寺の日本文化における意義とその魅力を余すところなくご覧いただけます。

【開催期間】

2023年3月7日（火）～
5月7日（日）

【応募方法】

・応募期限：2023年3月20日（月）

・プレゼント数：10名様（20枚）

- ・応募方法：メールにて、郵便番号、住所、氏名、事務所名、電話番号、希望の公演日時を明記の上、以下の宛先までご応募ください。
- ・応募先：ミロク情報サービス広報IRグループ「CHANEL東京国立博物館プレゼント」係
- ・メールアドレス：pream@mjs.co.jp
- ※FAXでも応募を受け付けております。
・FAX：03-5360-3430
- ・当選発表：お申し込み多数の場合は、抽選とさせていただきます。当選結果は本券の発送をもってかえさせていただきます。



重要文化財 五百羅漢図
吉山明兆筆
南北朝時代・至徳3年（1386年）
京都・東福寺蔵 第40号幅
展示期間：2023年4月18日（火）～5月7日（日）

「女系家族と思っていたら…」

中部ミロク会計人会

静岡県三島市 古口 美知子



ちょっと古いですが、家族写真です

古い話になりますが、私の母は1928年に九人姉妹の七女として生まれ、「産めよ増やせよ」の時代に女の子だけの姉妹は、さぞ肩身が狭かっただろうと思います。

母の実家は沼津市大門町で木村和裁所を営み、祖父はお弟子さんと娘たちに囲まれて男一人。くけ台を使わずに足の指で布を引っ張って縫う、本格の和裁師でした。祖父が足の指を使って

縫っていた光景が、かすかな記憶によりがえります。

母の姉妹は7人が80代後半まで長生きしましたが、男兄弟がいたら戦争で何人も失っていたのではないのでしょうか。

さて、私も三姉妹と女ばかりでしたので、生まれた時は父方の祖父に「また女か」と言われたそうです。両親はあきらめのよい考え方をしてくれたので、3人とも嫁に出して、実家の酒

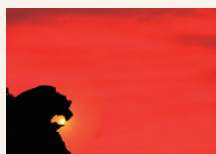
井の姓を受け継ぐ者はいなくなりました。そういうわけで私も女の子を2人授かり、長女が結婚して女の子2人の孫が生まれたのも、女系だから当然のことと思っていました。

ところが、いま一緒に税理士として働いている次女が、なんと3人の男の子に恵まれました。ここで完全に女系家族説は覆り、3対1でいつもやや遠慮がちだった亡夫も嬉しかったことでしょう。

今は面倒見のよい婿さんが、保育園の送り迎えを一手に引き受け、子どもたちの世話をしてくれています。私が朝食を、娘が夕食を作るパターンで家事を分担して、小6・小4・年少の子どもたちと6人で、にぎやかに暮らしています。

男の子を育てたことがなかったのでも若干不安もありましたが、なかなか可愛いものです。これから思春期を迎えますが、無責任な祖母としてはできるだけ甘やかしたいなと思っています。

表紙の写真



「熊野灘に向かって吠える獅子岩」
(三重県熊野市)

世界遺産、そして天然記念物及び名勝「獅子岩」は、地盤の隆起と海蝕現象によって生まれた高さ約25m、周囲約210mの奇岩です。昔から南側に位置する神仙洞の畔(うん)の岩(雌岩)に対して阿(あ)の岩(雄岩)と呼ばれ、井戸川上流に位置する大馬神社の狛犬として敬愛されていました。毎年8月17日に開催される「熊野大花火大会」では、多くのカメラマンが集まる絶好の撮影スポットとなります。(熊野市観光公社HPより)

MJSより

製品解説の動画などを
YouTubeで配信中!



MJS YouTube
公式チャンネル

税理士事務所 CHANNEL

発行 株式会社ミロク情報サービス
〒160-0004 東京都新宿区四谷4-29-1
TEL. 03-5361-6309
(経営企画・広報IRグループ)

発行人 是枝周樹

編集企画 ミロク会計人会連合会広報委員会
ミロク会計人会事務局、
経営企画・広報IRグループ

監修 ミロク会計人会連合会広報委員会

配信制作 東方通信社

印刷 耕文社

※本誌に掲載されている会社名及び製品名は、
各社の商標または登録商標です。禁無断転載

ホームページにて本誌データを公開しています! こちらもご覧ください

ミロク会計人会

検索

<https://www.mirokukai.ne.jp/channel/index.html>

FUJIFILM
Value from Innovation

FUJI XEROX is now **FUJIFILM**

Accelerate your business success.



富士フイルム ビジネス イノベーションジャパン株式会社

〒135-0061 東京都江東区豊洲2丁目2番1号
TEL 03-6633-1150

